

# Cisco Start Router

設定マニュアル CCP Express のアップグレード Cisco 841M J

2016 年 2 月 1 日

第 1.0 版



[www.networld.co.jp](http://www.networld.co.jp)

株式会社ネットワールド





Cisco Start Router

設定マニュアル CCP Express のアップグレード Cisco 841M J



## 改訂履歴

版番号	改訂日	改訂者	改訂内容
1.0	2016 年 2 月 1 日	ネットワーク	● 新規



## **免責事項**

- 本書のご利用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。本書に記載する情報については、株式会社ネットワーク（以下 弊社）が慎重に作成および管理いたしますが、弊社がすべての情報の正確性および完全性を保証するものではありません。
- 弊社は、お客様が本書からご入手された情報により発生したあらゆる損害に関して、一切の責任を負いません。また、本書および本書にリンクが設定されている他の情報元から取得された各種情報のご利用によって生じたあらゆる損害に関しても、一切の責任を負いません。
- 弊社は、本書に記載する内容の全部または一部を、お客様への事前の告知なしに変更または廃止する場合がございます。なお、弊社が本書を更新することをお約束するものではありません。



## 表記規則

表記	表記の意味
「」(括弧記号)	キー、テキストボックス、ラジオボタンなどのオブジェクト
<b>bold</b> (ボールド文字)	入力または選択するシステム定義値
<i>&lt;italic&gt;</i> (イタリック文字)	入力または選択するユーザー定義値
□ (囲み線)	入力または選択するオブジェクト
"" (二重引用符記号)	表示されるメッセージ
■ (蛍光マーカー)	確認するメッセージ

表記の例)

(1) 「Exec」ラジオボタンを選択します。

(2) テキストボックスに以下のコマンドを入力します。

**copy running-config <file name>**

(3) 「コマンドを実行」ボタンをクリックします。正常に実行されれば、画面に「[OK]」が表示されます。

Destination filename [startup-config]?

Building configuration...

[OK]

### CLIによる設定

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

1

☒ Exec

☐ Configure

2

copy running-config startup-config

3

コマンドを実行

クリア

Destination filename [startup-config]?

Building configuration...

[OK]



## 目次

1. はじめに.....	1
1.1 対象製品.....	1
1.2 CCP Express のシステム要件.....	1
1.3 クイックリンク.....	2
2. システム構成.....	3
2.1 使用した機材 .....	4
3. 設定手順 .....	5
3.1 新しいバージョンの CCP Express のダウンロード .....	5
3.2 古いバージョンの CCP Express のアンインストール .....	6
3.3 新しいバージョンの CCP Express のアップロード .....	9
3.4 新しいバージョンの CCP Express のインストール.....	11



## 1. はじめに

本書は、Cisco Configuration Professional Express（以下 CCP Express）のアドバンスドセットアップを使用して Cisco 841M J シリーズの CCP Express のアップグレードを実行する手順を説明した資料です。CCP Express は、Web UI を備えた組み込みのデバイス管理ツールです。CCP Express のアドバンスドセットアップを使用すると、WAN、LAN、およびセキュリティなど、製品の詳細設定を簡単に実行できます。



図 1 本書で実行する設定

### 1.1 対象製品

本書を使用して CCP Express のアップグレードを実行できる製品は、以下のとおりです。

表 1 本書の対象製品

C841M-4X-JSEC/K9	C841M-4X-JAIS/K9	C841M-8X-JAIS/K9
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

### 1.2 CCP Express のシステム要件

CCP Express を使用できる Cisco IOS および Web ブラウザーは、次のとおりです。また、CCP Express をインストールするには、製品のフラッシュメモリーに 4MB 以上の空き領域が必要です。

- Cisco IOS 15.2(4)M2～、または 15.3(1)T～、セキュリティ機能は 15.5(1)T～
- Microsoft Internet Explorer 10
- Google Chrome 17～
- Mozilla Firefox 10～



## 1.3 クイックリンク

Cisco 841M J シリーズの公式の情報は、以下の URL から入手できます。

- Cisco Start Router ホーム:  
<http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/index.html>
- 製品カタログ:  
[http://www.cisco.com/web/JP/product/catalog/pdf/1082\\_en\\_start\\_catalog.pdf](http://www.cisco.com/web/JP/product/catalog/pdf/1082_en_start_catalog.pdf)
- データシート:  
[http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/docs/c800mj\\_data\\_sheet\\_c78-732678.pdf](http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/docs/c800mj_data_sheet_c78-732678.pdf)
- サポートコミュニティ:  
<https://supportforums.cisco.com/ja/start>
- よくある質問:  
<http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/c800m-faq.html>
- サポート窓口:  
<http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/c800m-support.html>



## 2. システム構成

CCP Express のアップグレードには、USB メモリーまたはファイル転送プロトコル（FTP、HTTP、HTTPS、RCP、SCP、TFTP）を使用します。アップグレードプロセスで使用する USB メモリーや FTP サーバーなどのデータストアには、以下の URL からダウンロードしたアーカイブファイルを展開し、拡張子が tar のファイルを保存しておきます。展開したアーカイブファイルには拡張子が gz のファイルも含まれますが、このファイルはワイヤレスアクセスポイント用の CCP Express イメージのため、ここでは使用しません。なお、本書ではデータストアとして USB メモリーを使用します。

- <https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=281795035&softwareid=282159854&relind=AVAILABLE&rellifecycle=&reltype=latest>

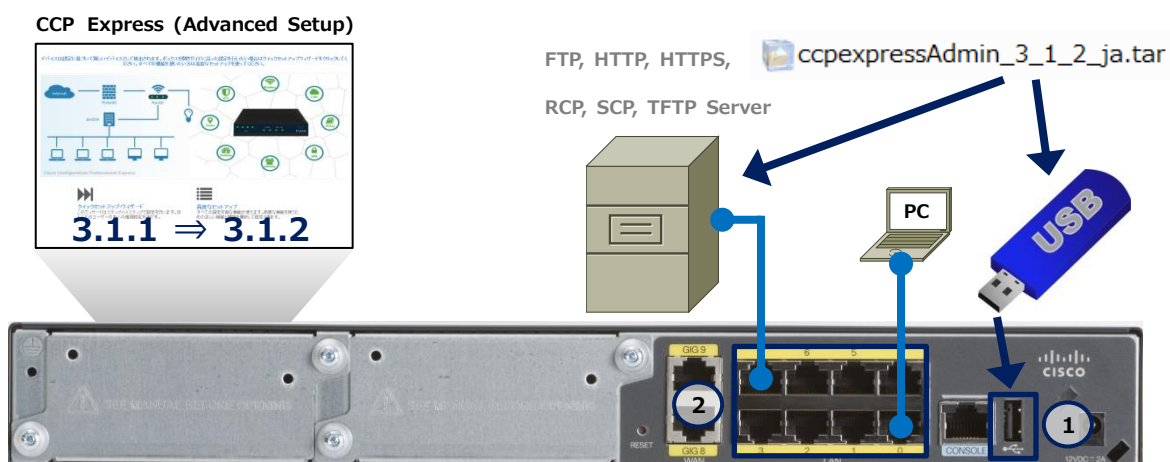


図 2 CCP Express のアップグレードで使用する構成（C841M-8X-JAIS/K9 の場合）

本書では、CCP Express への接続やログインの手順を省略しています。これらの手順については、クイックスタートガイドをご参照ください。

- Cisco Start Router 設定マニュアル クイックスタートガイド Cisco 841M J:  
[http://www.networkworld.co.jp/download\\_file/4574/7266/](http://www.networkworld.co.jp/download_file/4574/7266/)





## 2.1 使用した機材

本書で使用した機材は、以下のとおりです。

表 2 本書で使用した機材

機材	製品型番または名称	備考
Cisco 841M J シリーズ	C841M-4X-JAIS/K9 15.5(3)M	
デバイス管理ツール	CCP Express 3.1.1	3.1.2 にアップグレード
PC	Windows 7 x64 Professional SP1	
Web ブラウザー	Internet Explorer x64 11.0.9600.18163	
USB メモリー	MF-ENU204GBK	USB2.0 / FAT32 フォーマット



### 3. 設定手順

Cisco 841M J シリーズの CCP Express のアップグレードを実行します。

#### 3.1 新しいバージョンの CCP Express のダウンロード

Cisco Systems（以下 Cisco）社のソフトウェアダウンロードサイトから CCP Express イメージをダウンロードします。ここでは、cisco-config-pro-exp-admin-k9-3\_1\_2-ja.zip を使用します。

(1) <https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=281795035&softwareid=282159854&relind=AVAILABLE&rellifecycle=&reltype=latest> にアクセスします。「Latest」ドリルダウンリストから最新の CCP Express バージョンをクリックします。「Download」ボタンをクリックします。英語版ではなく日本語版をダウンロードしてください。

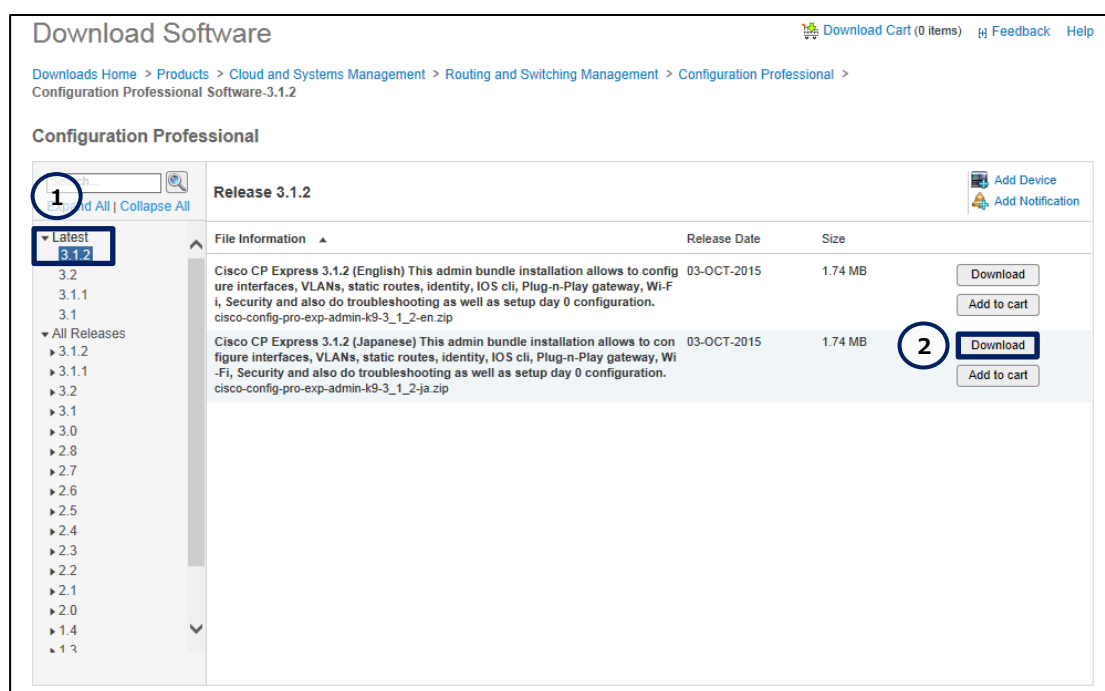


図 3 Cisco 社のソフトウェアダウンロードサイト

(2) 「Cisco End User License Agreement」リンクラベルをクリックし、EULA を確認します。EULA に同意できる場合は、「Accept License Agreement」ボタンをクリックします。



図 4 EULA

(3) ダウンロードした CCP Express イメージのアーカイブファイルを展開し、拡張子が tar のファイルを USB メモリーに保存します。ここでは、ccpexpressAdmin\_3\_1\_1\_ja.tar を使用します。

## 3.2 古いバージョンの CCP Express のアンインストール

製品のフラッシュメモリーから古いバージョンの CCP Express ファイルをアンインストールします。

(1) Web ブラウザーを使用して CCP Express にログインします。

(2) CLI コマンドの実行画面に移動します。「任意の CLI コマンド」ボタンをクリックします。ホーム画面が表示されていない場合は、「ホーム」ボタンをクリックするか、またはショートカットメニューから「CLI の構成」ボタンをクリックしてください。





図 5 CCP Express のホーム（任意の CLI コマンド）



図 6 CCP Express のショートカット（ホームと CLI の構成）

(3) フラッシュメモリーの内容を確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **dir flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express ファイルがフラッシュメモリーに存在することを確認できます。



図 7 フラッシュメモリーの確認（古いバージョンの CCP Express ファイル）

(4) home.shtml ファイルを削除します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **delete /force flash:home.shtml** を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。コマンドが正常に終了した場合は、「コマンドが完了しました。」が表示されます。



CLI の構成

CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLI コマンドを入力できます

1

☒ Exec
 ☐ Configure

2

delete /force flash:home.shtml

3

コマンドを実行

クリア

コマンドが完了しました。

図 8 home.shtml ファイルの削除

(5) ccpexp フォルダを削除します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **delete /force /recursive flash:ccpexp** を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。ccpexp フォルダの削除には 3 分程度の時間がかかります。コマンドが正常に終了した場合は、「コマンドが完了しました。」が表示されます。

CLI の構成

CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLI コマンドを入力できます

1

☒ Exec
 ☐ Configure

2

delete /force /recursive flash:ccpexp

3

コマンドを実行

クリア

コマンドが完了しました。

図 9 ccpexp フォルダの削除

(6) フラッシュメモリーの内容を確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **dir flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express ファイルがフラッシュ



シュメモリに存在しないことを確認できます。

1
2
3

### CLI の構成

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

☒ Exec
☐ Configure

dir flash:

コマンドを実行

クリア

Directory of sdflash:/

```

1 -rw- 58966316 Nov 11 2015 06:24:20 +09:00 c800m-universalk9-mz.SPA.155-3.M.bin
2 -rw- 3068 Nov 11 2015 06:31:56 +09:00 cpconfig-8xx.cfg
1959055360 bytes total (1900101632 bytes free)

```

図 10 フラッシュメモリーの確認（CCP Express のアンインストール）

### 3.3 新しいバージョンの CCP Express のアップロード

製品のフラッシュメモリーに新しいバージョンの CCP Express イメージをアップロードします。

(1) USB メモリーを製品の USB ポートに接続します。

(2) USB メモリーの内容を確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **dir usbflash0:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express イメージが USB メモリーに存在することを確認できます。



The screenshot shows the CLI interface with the following elements:

- CLI の構成** (CLI Configuration) header.
- CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます** (CLI functionality allows you to enter settings executable in the router's command prompt, and all IOS CLI commands).
- 1** ☒ **Exec** (Selected mode)
- 2** ☐ **Configure**
- 3** **コマンドを実行** (Execute Command) button and **クリア** (Clear) button.
- dir usbflash0:** (Command entered in the input field)
- Directory of usbflash0:/** (Output header)
- 1 -rw- 0 Oct 3 2015 08:51:20 +09:00 ccpexpressAdmin\_3\_1\_2\_ja.tar** (Output line 1)
- 16026173440 bytes total (16026165248 bytes free)** (Output summary)

**図 11 USB メモリーの確認（新しいバージョンの CCP Express イメージ）**

**(3)** CCP Express イメージをアップロードします。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **copy usbflash0:ccpexpressAdmin\_3\_1\_2\_ja.tar flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。コマンドが正常に終了した場合は、“copied”が表示されます。

## CLI の構成

CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLI コマンドを入力できます

- 1 ☒ Exec  
☐ Configure
- 2
- 3

```
6225920 bytes copied in 10.408 secs (598186 bytes/sec)
```

## 図 12 CCP Express イメージのアップロード

**(4)** フラッシュメモリーの内容を確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **dir flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express イメージがフラッシュメモリーに存在することを確認できます。



1
2
3

### CLI の構成

CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLI コマンドを入力できます

☒ Exec  
☐ Configure

dir flash:

コマンドを実行 クリア

```

Directory of sdflash:/
 1 -rw- 58966316 Nov 11 2015 06:24:20 +09:00 c800m-universalk9-mz.SPA.155-3.M.bin
 2 -rw- 3068 Nov 11 2015 06:31:56 +09:00 cpconfig-8xx.cfg
458 -rw- 6225920 Feb 1 2016 19:26:08 +09:00 ccpexpressAdmin_3_1_2_ja.tar

1959055360 bytes total (1893937152 bytes free)

```

図 13 フラッシュメモリーの確認（新しいバージョンの CCP Express イメージ）

(5) USB メモリーを製品の USB ポートから切断します。

### 3.4 新しいバージョンの CCP Express のインストール

製品のフラッシュメモリーに新しいバージョンの CCP Express ファイルをインストールします。

(1) CCP Express ファイルをインストールします。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **archive tar /xtract flash:ccpexpressAdmin\_3\_1\_2\_ja.tar flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express ファイルのインストールには 5 分程度の時間がかかります。





CLI の構成

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

1

☒ Exec
 ☐ Configure

2

archive tar /xtract flash:ccpexpressAdmin\_3\_1\_2\_ja.tar flash:

3

コマンドを実行

クリア

```

extracting ccpexp/templates/shdsIMMEFMATM.txt (93 bytes)
extracting ccpexp/templates/shutdownDmvpn.txt (73 bytes)
extracting ccpexp/templates/tunnelConfiguration.txt (446 bytes)
extracting ccpexp/templates/userFormDelete.txt (21 bytes)
extracting ccpexp/templates/userPasswordCreate.txt (61 bytes)
extracting ccpexp/templates/userSecretCreate.txt (59 bytes)
extracting ccpexp/templates/userToGroup.txt (48 bytes)
extracting ccpexp/templates/vpn1KEv1.txt (570 bytes)
extracting ccpexp/templates/vpn1KEv2.txt (782 bytes)
extracting ccpexp/templates/vpn1kev1InterfaceTunnel.txt (323 bytes)
extracting ccpexp/templates/vpn1kev2InterfaceTunnel.txt (300 bytes)
extracting ccpexp/templates/vpnWhiteListing.txt (85 bytes)
extracting ccpexp/templates/wanMode.txt (20 bytes)
extracting ccpexp/templates/zonePair.txt (117 bytes)
extracting ccpexp/version.txt (72 bytes)
extracting home.shtml (2885 bytes)
          
```

図 14 CCP Express のインストール

(2) フラッシュメモリーの内容を確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **dir flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express ファイルと CCP Express イメージがフラッシュメモリーに存在することを確認できます。

CLI の構成

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

1

☒ Exec
 ☐ Configure

2

dir flash:

3

コマンドを実行

クリア

```

Directory of sdflash:/

 1 -rw- 58966316 Nov 11 2015 06:24:20 +09:00 c800m-universalk9-mz.SPA.155-3.M.bin
 2 -rw- 3068 Nov 11 2015 06:31:56 +09:00 cpconfig-8xx.cfg
458 -rw- 6225920 Feb 1 2016 19:26:08 +09:00 ccpexpressAdmin_3_1_2_ja.tar
459 drw- 0 Feb 1 2016 19:50:36 +09:00 ccpexp
 4 -rw- 2885 Feb 1 2016 19:54:12 +09:00 home.shtml

1959055360 bytes total (1886515200 bytes free)
          
```

図 15 フラッシュメモリーの確認（新しいバージョンの CCP Express ファイルと CCP Express イメージ）

(3) CCP Express イメージを削除します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **delete /force flash:ccpexpressAdmin\_3\_1\_2\_ja.tar** を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。コマンドが正常に終了した場合は、「コマンドが完了しました。」が表示され



ます。

CLI の構成

CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLI コマンドを入力できます

1

☒ Exec  
☐ Configure

2

delete /force flash:ccpexpressAdmin\_3\_1\_2\_ja.tar

3

コマンドを実行

クリア

コマンドが完了しました。

図 16 CCP Express イメージの削除

(4) フラッシュメモリーの内容を確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **dir flash:**を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックします。CCP Express ファイルがフラッシュメモリーに存在することを確認できます。

CLI の構成

CLI 機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLI コマンドを入力できます

1

☒ Exec  
☐ Configure

2

dir flash:

3

コマンドを実行

クリア

Directory of sdflash:/

1 -rw- 58966316 Nov 11 2015 06:24:20 +09:00 c800m-universalk9-mz.SPA.155-3.M.bin  
2 -rw- 3068 Nov 11 2015 06:31:56 +09:00 cpconfig-8xx.cfg  
459 drw- 0 Feb 1 2016 19:50:36 +09:00 ccpexp  
4 -rw- 2885 Feb 1 2016 19:54:12 +09:00 home.shtml  
  
1959055360 bytes total (1892741120 bytes free)

図 17 フラッシュメモリーの確認（新しいバージョンの CCP Express ファイル）

(5) CCP Express のバージョンを確認します。「Exec」ラジオボタンをクリックします。「Exec」テキストボックスに **more flash:ccpexp/version.txt** を入力します。「コマンドを実行」ボタンをクリックし



ます。CCP Express のアップグレードが成功している場合は、"version 3.1.2"が表示されます。

1
2
3

### CLI の構成

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

☒ Exec
☐ Configure

more flash:ccpexp/version.txt

コマンドを実行

クリア

```
CCPEXpress version 3.1.2 This handoff was built at 2015-10-02 23:51:13
```

図 18 CCP Express のバージョンの確認

# お問い合わせ

## Q 製品のご購入に関するお問い合わせ

<https://info-networld.smartseminar.jp/public/application/add/152>

## Q ご購入後の製品導入に関するお問い合わせ

弊社担当営業にご連絡ください。

## Q 製品の保守に関するお問い合わせ

保守開始案内に記載されている連絡先にご連絡ください。

本書に記載されているロゴ、会社名、製品名、サービス名は、一般に各社の登録商標または商標です。  
本書では、®、™、©マークを省略しています。

[www.networld.co.jp](http://www.networld.co.jp)

株式会社ネットワーク

